平成25年度　学力定着実態調査の結果及び改善計画

尾道市立　　土堂　　小学校

国　語

【今年度の結果】

1　偏差値

全国	市	自校
50	51.6	58.3

2　領域別結果（正答率）

領域	全国	市	自校
話すこと・聞くこと	60.0	63.8	77.3
書くこと	50.7	54.7	64.2
読むこと	46.4	47.9	64.0
伝統的な言語文化と国語の特質	66.9	68.9	78.8

3　重点課題

	設　問	状　況
①	読点を適切に使うこと	通過率 9%
②	国語辞典の使い方	通過率 29%
③	話の中心をまとめる	通過率 31%

4　検証結果

	設　問	状　況
①	読点を適切に使うこと	通過率 55%
②	国語辞典の使い方	通過率 72%
③	話の中心をまとめる	通過率 76%

【来年度の目標値】

領域	自校
話すこと・聞くこと	78
書くこと	65
読むこと	65
伝統的な言語文化と国語の特質	80

R　重点課題　P

①文の意味を押さえ，読点を適切に打つことに課題がある。（通過率：9%）

②国語辞典に出てくる言葉の順序の理解に課題がある。（通過率：29%）

③段落相互の関係を考えながら内容を正しく読み取り，要約することに課題がある。（通過率：31%）

D　重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

①－1
2学期に学習する「文の組み立てを考えよう」の単元において，修飾語について丁寧に指導し，どの言葉を詳しく説明しているのか考えさせる。

①－2
日々の日記指導を丁寧に行い，読み手を意識して，分かりやすい文章を書くことを意識させる。

②－1
常に国語辞典を持たせ，国語科の授業だけでなく，様々な教科で辞書を引くことを日常的に取り入れる。

②－2
モジュールで，辞書引きを取り入れて，速く正確に引けるようにする。

③－1
2学期単元の説明文「くらしの中の和と洋」において，まとまりごとの内容を，キーワードを見つけながら短い文章にまとめる活動を取り入れる。そして，それらを比べることで，段落相互の関係について読み取らせる。

③－2
字数制限作文や，キーワード作文等，条件に合わせて自分の考えをまとめる活動を家庭学習等で取り組ませる。

C　検証方法

〇類似問題を作成し，3学期中に実施し，定着状況を見取る。

〇評価問題を作成し，モジュールタイムで実施する。

平成25年度　学力定着実態調査の結果及び改善計画

尾道市立　　土堂　　小学校

算　数

【今年度の結果】

1　偏差値

全国	市	自校
50	53.5	61.1

2　領域別結果（正答率）

領域	全国	市	自校
数と計算	64.2	69.7	81.2
量と測定	64.7	72.0	82.8
図形	72.7	77.7	88.1
数量関係	61.4	66.0	82.3

3　重点課題

	設　問	状　況
①	除法の余りの理解	通過率 58%
②	言葉の式で表す	通過率 58%
③	乗法についての性質	通過率 60%

4　検証結果

	設　問	状　況
①	除法の余りの理解	通過率 88%
②	言葉の式で表す	通過率 85%
③	乗法についての性質	通過率 93%

【来年度の目標値】

領域	自校
数と計算	82
量と測定	83
図形	89
数量関係	83

R　重点課題　P

①除法で，余りの大きさは除数よりも小さいことの理解に課題がある。（通過率：58%）

②数量の関係を，言葉の式で表すことに課題がある。（通過率：58%）

③加法や乗法に関して成り立つ性質を理解し，式で表すことに課題がある。（通過率：60%）

D　重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

①－１
具体物（ブロック等）を用いて，除数と余りの大きさの関係を操作する活動に取り組ませることで，実感を伴った理解の定着を図る。

①－２
モジュールタイムや家庭学習で類似の問題に繰り返し取り組み，個別指導をしていく。

①－３
一般化していく時には，帰納的に考える等思考する授業の改善を図る。

②－１
線分図やテープ図のかき方を丁寧に指導し，分かっている数量や問われている数量を正しく捉えられるようにしていく。

②－２
2学期単元「式と計算」の学習において，図から式を読む，式と図を結びつける，言葉から式をつくる等，図，式，言葉を場面と関連付けて自分の考えを説明する活動に取り組ませる。

③－１
2学期単元「式と計算」の学習において，ドット図を用いて実感を伴った理解を促し，類似の問題に取り組ませる。

③－２
計算のきまりを用いる問題に，家庭学習やモジュールタイムで繰り返し取り組ませる。

C　検証方法

同様の問題を作成し，3学期中に定着状況を見取る。

定期的に小テストを実施する。

平成25年度　学力定着実態調査の結果及び改善計画

尾道市立　　土堂　　小学校

社　会

【今年度の結果】

1　偏差値

全国	市	自校
50	52.6	57.4

2　領域別結果（正答率）

領域	全国	市	自校
健康な生活と安全な生活	65.2	67.8	77.2
地域の開発と人々の生活	60.7	64.5	67.8
県のようすと人々のくらし	58.6	65.1	75.0

3　重点課題

	設　問	状　況
①	川の流れる方向	通過率12 %
②	開発前後の判断理由	通過率29 %
③	消防署・道路混雑調べ	通過率31 %

4　検証結果

	設　問	状　況
①	川の流れる方向	通過率98%
②	開発前後の判断理由	通過率98%
③	消防署・道路混雑調べ	通過率100 %

【来年度の目標値】

領域	自校
健康な生活と安全な生活	78
地域の開発と人々の生活	69
県のようすと人々のくらし	76

R　重点課題　P

①地図記号や高低を表す項目をもとに，土地の様子を知ることに課題がある。（通過率12%）

②絵図やグラフを手がかりにして，開発前後の変化の理由を説明することに課題がある。（通過率29%）

③消防や警察の働きについて，仕事内容と理由をつなげて考えている。（通過率31%）

D　重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

①－1
地形図，白地図などを使って，土地の高低や様子を表す項目をもとに土地の様子をつかむ活動を充実させる。
【米づくりのさかんな庄内平野「庄内平野の土地利用図」】
【自動車をつくる工業「自動車の組み立て工場の分布」】
【工業生産と工業地域「全国の工業生産額」】

①－2
プリントを使って，地形や土地の様子を読み取る練習をする。

②－1
グラフや資料を根拠にして，「どこがどうちがうのか」「それはなぜなのか」を考えたり説明したりする活動を充実させる。
【水産業のさかんな静岡県「漁業別の生産量の変化」「水産業で働く人の数の変化」「日本の水産物輸入量の変化」】
【これからの食料生産とわたしたち「土地利用の変化」「農業で働く人数の変化」「漁業で働く人数の変化」「農業をする会社の数の変化」】

③－1
調べ学習をして集めた情報をもとに，その仕事がどんな意味があり、どのように人々の役に立っているか話合う活動を充実させる。
【環境を守るわたしたち「環境を守るための取り組み」】
【自然災害を防ぐ「自然災害の被害を防ぐための取り組み」】

③－2
警察や消防の働きについてプリント学習を行う。

C　検証方法

○同様の問題を作成し，3学期中に定着状況を見取る。

○定期的に小テストを実施する。

平成25年度　学力定着実態調査の結果及び改善計画

尾道市立　　土堂　　小学校

理　科

【今年度の結果】

1　偏差値

全国	市	自校
50	52.3	59.8

2　領域別結果（正答率）

領域	全国	市	自校
昆虫と植物	78.9	82.3	90.6
太陽と地面の様子	72.0	75.7	85.9
物の性質と働き	74.7	75.7	86.8
物と重さ	72.5	77.0	89.3

3　重点課題

	設　問	状　況
①	鉄の缶とアルミ缶電気	通過率 36%
②	正午の影と太陽の位置	通過率 60%
③	鉄の缶とアルミ缶磁石	通過率 64%

4　検証結果

	設　問	状　況
①	鉄の缶とアルミ缶電気	通過率 62%
②	正午の影と太陽の位置	通過率 86%
③	鉄の缶とアルミ缶磁石	通過率 81%

【来年度の目標値】

領域	自校
昆虫と植物	91
太陽と地面の様子	86
物の性質と働き	87
物と重さ	90

R　重点課題　P

①アルミニウムの性質の理解（アルミニウムは電気を通すこと）に課題がある。（通過率：36%）

②太陽とかげの位置の理解に課題がある。（通過率：60%）

③スチール（鉄）とアルミニウムに磁石がつくかという視点で考察することに課題がある。（通過率：64%）

D　重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

①－1
磁石の性質と電気を通すものが混同してしまっているため，再度実験を行い，理解を確かなものにする。

①－2
同様の問題に繰り返し取り組ませ，何を問われているのかをつかみ，選択肢を正しく読み取る力をつけていく。

②－1
4方位を正しく理解させ，2学期単元「月や星の動き」において，太陽の動き方を月と関連づけて再度理解を促す。

②－2
モジュールタイムにおいて，4方位，8方位，太陽や月の動き方を確認できるような教材を作成し，定着を図る。

③－1
磁石の性質と電気を通すものが混同してしまっているので，再度実験を行い，理解を確かなものにする。

③－2
家庭学習等で同様の問題に繰り返し取り組ませ，個別指導をする。

C　検証方法

○同様の問題を作成し，3学期中に定着状況を見取る。

○定期的に小テストを実施する。